

具体的な施策

＜めざすこども像の達成に向けて＞

◇ 考える子

めざすこども像	具体的な施策	評価	担当
① 主体的に 学ぼうとする子 【研究部】	○授業づくり ・課題設定（めあて）の工夫、黒板カードの活用 ○基礎・基本の定着 ・漢字会、計算会	◇授業の様子（適宜） ◇アンケートによる振り返り（各学期）	ホームページには氏名を掲載していません。
② 自分の考えをもち表現する子 【研究部】	○話す力、聴く力の向上 ○対話力の向上 ・場の設定（授業、朝の会、帰りの会、おしゃべりタイムなど） ・形態の工夫（ペア、グループ、全体、机の配置など）	◇授業の様子（適宜） ◇アンケート（年度初め、終わりでの比較）	
③ 学びを深め豊かにする子 【研究部】	○自学ノートの評価（評価の観点を明確に） ・3年生以上、各学期・通年評価 ○図書館・新聞活用教育の充実 ・調べ学習、言語活動 ・おすすめ本 ・読書タイム（学習タイム第2週） ・新聞タイム（学習タイム第1週・学期に1回） ○ICTの効果的な活用 ・実践例などのミニ研修（学期に1回）	◇ノートチェック（日常、学期末、年度末） ◇完読賞の表彰（随時）	

◇ やさしい子

めざすこども像	具体的な施策	評価	担当
① 自分に自信をもち明るくたくましい子 【生徒指導部】	○あいさつ ・教職員の積極的なモデル ・児童運営委員会によるA(あいさつ)運動の励行 ○キャリア教育の推進 ・キャリアパスポートの活用 （行事ごとの記録） ・学園キャリア教育年間計画の共通理解	◇学校評価（年末） ◇職員会議・職員終礼時における振り返り（月に1回） ◇学校評価（年末） ◇キャリアパスポートへの記入の見取り（行事後）	ホームページには氏名を掲載していません。
② 相手をおもいやり助け合う子 【生徒指導部】	○児童理解力の向上 ・職員会議、職員終礼に情報交換（随時） ・全校教育相談週間の実施（年2回） ・tetoruの情報確認（毎朝） ・SC、SSW、校内教育支援センター支援員等の活用	◇学校評価（年末） ◇定期的な情報交換の時間設定（随時） ◇学校生活アンケート（年末） ◇SC、SSW、校内教育支援センター支援員との打ち合わせ	

	・こどもの見取り方、接し方研修の実施 ・こどもの前向きさを引き出す接し方 ・Q-Uアンケート研修の実施 ○異学年集団の積極的な活用 ・そうじ、ちゅうオリンピック、運動会など	◇研修の実施（学期に1回） ◇Q-U アンケート結果（8月、2月） ◇実施後の振り返り	ホームページには氏名を掲載しておりません。
③ ちがいを認め大切に 【生徒指導部】	○人権教育の充実 ・人権教育の集中的、全校体制での実施（11月） ・名前の呼び方等言葉の指導（呼び捨て、「おまえ」等の言い方をしない） ○いじめ防止への努力 ・いじめ防止基本方針への理解・運用 ・いじめ防止に向けての研修の実施 ○特別支援教育の理解推進 ・特別支援学級の教育の充実 ・通級による指導の理解 ○不登校・不登校傾向児童本人の教育的ニーズを尊重した対応 ・校内体制による多様な学びの場の活用 ・家での学びの状況がわからない児童0（ゼロ）	◇学校評価（年末） ◇学校評価（年末） ◇日々の生活の観察と見取り（ケース会時や学期末） ◇学校評価（年末） ◇学校評価（年末） ◇日々の生活の観察と見取り（ケース会時や学期末）	

◇ がんばる子

めざす子ども像	具体的な施策	評価	担当
① 進んで体をきたえる子 【体づくり部】	○チャレンジカード（1～3年生） ・1～3年生を中心に遊具などを使った運動。 ○中央っ子サーキット（1～2年生） ・体育の時間の始めの5～10分程度。 ・運動会に、全校でブリッジと片足バランス。 ○中央っ子エクササイズ（全校） ・掃除後、音楽に合わせて、全校で実施。（毎日）	◇チャレンジカード（適宜） ◇表彰（7月、12月） ◇学校評価（年末） ◇授業の様子（適宜） ◇運動会（ブリッジ・片足バランス）の様子 ◇活動の様子（適宜）	ホームページには氏名を掲載しておりません。
② 気持ちのよいくらしをつくりだす子 【生徒指導部】	○児童の委員会との連動 ・A（あいさつ）K（靴そろえ）Z（時間を守る）の推進 ○S（そうじ）をとoshした意識の醸成 ・縦割り班の活用 上学年の自覚促進	◇学校評価（年末） ◇委員会のふり返り（前期・後期） ◇そうじ反省カード	

	・教職員間の共通理解 ○安心・安全な学校環境への改善 ・児童による安全点検の実施（年１回） ・児童に向けての改善箇所の報告	◇安全点検カードへの記入	ホームページには氏名を掲載しておりません。
③ 最後まで粘り強く取り組む子 【体づくり部】	○ちゅうオリンピック（７月，１０月） ・目標を明確にした２回の実施。 ・たてわり班を活用した様々な運動経験の拡充。	◇活動の様子（適宜） ◇ふりかえりカード（７月，１０月）	

<めざす学校像の達成に向けて>

◇こども・家庭・地域から信頼される学校

	具体的な施策	評価	担当
①幼保小中およびまつえ天神川学園の連携 【教務部】	○体験的な活動の実施 ・生活科等の学習を通しての幼小交流（１年） ・中学校体験入学（６年） ・雑賀小との合同学習（３年） ・近隣幼保こども園の体験活動 ○まつえ天神川学園合同研究会を通じた連携 ・研究の視点を明確化した会の実施および教職員の情報交換	◇児童のふり返し、小中一貫アンケート（年度末） ◇学校評価（年末）	ホームページには氏名を掲載しておりません。
②地域のひと・もの・ことを生かした学校運営（学校運営協議会の活性化） 【教務部・管理職】	○地域学校協働活動推進員との連携 ・地域ボランティア等による活動支援（ふるさと教育、教科実技支援、体験的活動等） ○学校運営協議会制度を活かした取組 ・学校運営協議会における情報交換・意見交換 ・学校運営協議会に関わる教職員の情報共有	◇学校評価（年末） ◇学校運営協議会での協議（年３回）	
③積極的な情報発信と双方向の情報交換 【教務部・管理職】	○風通しのよい職場環境 ・管理職への速やかな報告・連絡・相談 ・いじめ対応の職員研修（年１回以上） ○教育活動に関わる情報発信 ・学級・学校・学園だより、ホームページの有効活用 ○各種会合における情報交換 ・教育後援会、学園教育推進会議、PTAの会合等における、情報交換の場の設定	◇学校評価（年末） ◇研修後のアンケート ◇学校評価（年末） ◇各種会合での意見交換	